

平成28年度 第5回南河内中学校区小中一貫教育推進協議会 議事録（要約）

I. 日時 平成29年1月24日（火）午後6時10分～午後7時45分

II. 場所 下野市役所 3階 303会議室

III. 出席委員

日下田委員、鈴木委員、白石委員、中澤委員、永吉委員、
齋藤委員、内木委員、松本委員、秋山委員、百武委員、
石嶋委員、根本委員

以上12名

IV. 欠席委員

飯野委員、海老原委員、大島委員

以上3名

V. 出席職員

野澤教育次長、坪山教育総務課長、海老原学校教育課長（事務局）
田澤学校教育課主幹兼指導主事（事務局）、西松学校教育課主幹（事務局）
岡野学校教育課主幹（事務局）

以上6名

VI. 内容

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

（1）地域・保護者説明会開催状況報告について

（2）第一次提言書（素案）について

（3）今後のスケジュールについて

（4）その他

4. 事務連絡

5. 閉会

課長	ただ今より第5回南河内中学校区小中一貫教育推進協議会を開催します。 本日の欠席者を報告します。飯野委員、海老原委員、大島委員の3名は欠席となります。また、現在不在の内木委員と秋山委員は遅れての出席となります。 会長あいさつをお願いします。
会長	お世話になっている協議会も第5回を向かえました。また、12月には4回にわたって地域・保護者説明会を開催しました。その時にも各委員にはお世話になりました。本日は、次第にもあるとおり説明会の報告、提言書、今後のスケジュールについてです。よろしくお願いします。
課長	それでは、議事に入ります。今、会長からもありましたが本日の予定は、12月に行った地域・保護者説明会の開催状況について、総合教育会議への提言書の素案について、今後のスケジュールについてであります。よろしくお願いします。
会長	では、議事の（1）地域・保護者説明会の開催状況の報告について、資料1を基に説明をお願いします。
事務局	（資料を基に説明）
会長	ご質問、ご意見はありますか。
委員	4回の説明会に全部出席しました。質問はしませんでした。PTA組織、学校行事など、5年という期間内に、細かな部分をどのように決めるのか、学校の先生やPTAに協議をお願いするのか、今後の大変さを感じました。一貫校（義務教育学校）で良いのではという雰囲気が大勢だったと思います。この協議会が今後も重要な存在になると思います。
会長	事務局としては準備段階での話し合いの場を、今後どのように設けていくのか考えを伺いたいです。
委員	資料を見ると、今後のスケジュールに設立準備委員会があります。この会で詳細な事は議論され具体化されるのだと思いますが。
会長	事務局の説明を求めます。
課長	ご意見のとおり、これから調整すること、解決することがたくさんあります。それらについては、この協議会だけで決めて行くことは困難ですので、準備委員会を設置し、その下部にも小部会を作り詳細事項を決めて行きたいと考えています。
会長	小学校同士だけでなく中学校との調整も必要になってきますので、委員会の支援は必要となってきます。
委員	他にご意見等ありますか。 私も4回参加しました。地域の皆さんもそうですが、学校の先生方も不安を感じていることが分かりました。学校と教育委員会とのコミュニケーションをしっかりと作ってってもらいたいです。具体的な部分が決まっていない、姿が見えない段階で議論するのは難しいと思いますが。準備委員会では、学校設立時の中心となる中堅の先生方に担ってもらい議論を深めてもらえればと思います。

会長	他にご意見等がありますか。 では続いて、前回第４回の協議会で義務教育学校への方向性を決めてもらいました。それに関して、総合教育会議に提出する第一次提言書（素案）について、資料２を基に説明をお願いします。事務局の説明をお願いします。
課長	（資料を基に説明）
会長	資料の提言１にある、①と②の２種類の表現をどちらにしたらよいですか。
委員	事実関係をはっきりさせたいです。①は「平均を下回っている」、②は「伸び悩んでいる」、このどちらかを選ぶというよりも事実はどうなのか、①も②も事実なら「①かつ②」が状況を表現した言い方ではないでしょうか。
会長	私は、この①にある「平均正答率」の意味を認めたくない部分があります。「平均正答率」は、問題の質を問わずに同じ配点で出していますので、これに意味を持たせたくないと思っています。よってこのワードを使用するのはどうなのかと思います。
委員	「平均正答率」は学力ではないとしますと、学力とは何でしょうか。「伸び悩んでいる」とは何を基準に伸び悩んでいるのでしょうか。周りと比較するのでなく、学校内で比較してみて伸び悩んでいるのでしょうか。
委員	この提言書は、市長に提出するものであります。地元に住む者からすれば、「平均を下回っている」というのはプライドが許しませんので、②の「伸び悩んでいる」という文言にしてもらいたいです。義務教育学校創設によって、さらに個人の力を伸ばすという意味で良いのではないのでしょうか。
委員	以前の協議会の資料の中で、学力が良くないという数値があったと思います。この数値は毎年の事なのですか。また、全国的にも小規模校の学力は総じて良くないものなのかを聞きたいです。
課長	小規模校の場合は、年によって変動があります。人数が少ないので個人の学力が大きく反映してしまいます。学びや切磋琢磨という面でみますと、小規模校の環境としては作りにくい部分があります。 提言１で言いたいことは、義務教育学校の導入によって学習・学力面で大きな改善をしていきたい、必要としている、という内容を現しています。
会長	他にご意見等がありますか。 提言１はこの案でいいですか。
委員	（異議なし）
会長	それでは案のとおりとします。 続いて、提言２に関してご意見はありますか。
委員	提言２にあります「自己有用感、自己肯定感」という言葉は、提言書を見る市民からしてみれば聞きなれない言葉なので、わかりやすい言葉にした方が良いのではないですか。
会長	教育分野ではよく使われる言葉であります。
委員	「自己肯定感」は聞く言葉であります。一般には聞かない言葉であります。

会長	教育分野では定着している言葉であり、「自己有用感・・・」はキーワードでもあります。このままで良いと思います。説明が必要であれば文末に記載しても良いのではないのでしょうか。
委員	わかりました。市民、保護者が意味を聞いてきた時には、適切に説明できるようにしなくてはならないです。地域保護者説明会の時には、自己有用感についてはわかりやすく説明していたので、それを提言の中に記載すればよいと思います。
課長	では、提言書に説明書きを追加すれば良いですか。
委員	提言2の中の各文末ですが、「できる」や「期待できる」などの表現はどのようなのでしょうか。
会長	断定できるもの、考察していくものなど区分して、文末の言葉をもう一度事務局で検討してもらうこととします。
委員	「自己有用感」の説明を提言書に記載とありましたが、市民に対するものでなく市長に対しての提言書なので説明書きはいらないと思いますがどうですか。
会長	提言書なので、説明書きは無しとします。
委員	提言書をホームページ等で公表する時はどうしますか。
委員	その際は、説明書きが必要と思います。
会長	では、それぞれにお願いします。
	他にご意見等がありますか。
委員	義務教育学校で学力の底上げはもちろん必要ですが、レベルの高い子に対してレベルの高い教育もできると思います。
会長	提言1との関連もあります。
委員	提言1の文言は、底上げをするという意味しか含まれていないようです。
委員	説明会で、教育長より英才教育は目指さないとありました。私もそれで良いと思います。
会長	エリート教育はやらないが一人一人の能力の発揮を目指す、ということでしょうか。
委員	子ども達みんなが刺激しあい相乗効果でレベルアップをしていく、というような文言、表現を追加してもらえば良いと思います。
会長	提言1においてそのように反映したいです。今回は、皆さまからご意見を伺って、次回、提言書の完成形を協議していただきたいと思います。
	他にご意見等がありますか。
委員	提言3ですが、最後の文章は「現在の南河内中学校」、「不足する小学校の校舎は」と表現した方が良いのではないですか。
会長	そのようにします。
	他にありますか。
委員	提言2の「つまずきに対し戻って確認・指導」というのは、現実的に教室内での実施は可能なのですか。理解している子との区別はどうするのですか。現場の先生方は良くわかっていると思いますが。
委員	現在は、学習支援員や空時間のある教員を活用してフォローを行ってい

会長	ます。9年間の学校になれば、職員室内で小学校での状況を申し送りできます。 私が義務教育学校を勧めたい理由に、小学校、中学校の教員を合わせればクラスを分割等して少人数指導ができます。中学校の教員は教科担任制ですので、小学校教員に比べ空き時間が多いです。例えば、中学校の技能教科の教員などが空いている時間帯にサポートに入り、学びが遅れている子たちを分けて指導することも可能になります。小規模校の教員は定数しか配置されていませんが、規模の大きい学校は加配があり、それらが可能となります。
委員	教員数が多ければ、指導の質も上がります。
委員	先日テレビで見ましたが、教員を目指す方たちをボランティアとして学習支援を行う取り組みがありました。それと同じような事ですか。
会長	先程の例は、ボランティアでなく教員免許を持った者が行うものです。 他にご意見はありますか。
委員	提言3ですが、文章の内、平成1年は「平成元年」に、また繋がりが悪いので「築26年程度と比較的新しくかつ平成29年度から大規模改修を予定している」に、また表現が矛盾しているので「昭和41年～44年に建築された建物であり、施設の耐用年数が50年であるところ築47年～50年が経過している」とした方が良いと思います。
委員	提言3の最後の段落ですが、土地について、購入の有無は記載しないのですか。
委員	購入しないというのが基本にあったのではないですか。
課長	レイアウトを決める段階で土地の購入については検討していきたいと思っています。
会長	他にご意見等ありますか。 次に、議事の（3）今後のスケジュールについて説明をお願いします。
事務局	（資料に基づき説明）
会長	ご質問はありますか。
委員	設立準備委員会について、協議会との関係は、位置づけはどうなっていますか。準備委員会のメンバーは学校の先生で構成されると思いますが、PTA組織の統合は協議されるのですか。
課長	準備委員会はこの協議会の下部組織とします。準備委員会の下にさらに作業部会を設置したいと思っています。どのような作業部会を設置し、メンバー等はどうするのか、これから検討していきたいです。次回協議会でお示しできればと思っています。
委員	次回協議会で準備委員会設置要綱が決定されるのですか。
会長	決定はできないと思いますので、原案を出して協議したいと思っています。 他にご質問等ありますか。
委員	平成29年度の地域保護者説明会の予定はどうなりますか。
会長	計画では地区全体で1回ですか。
課長	今年度は各校区で1回行いましたが、次年度は全体で1回を予定してい

会長 委員 次長 会長 事務局 会長	ます。 あくまでも予定です。状況によって変わります。 2次提言とありますが、2次提言は1回ですか、それとも2次提言は何回か分けて出しますか。提言は、年度に1回ですか。 現在、考えられるのは、項目ごとに準備委員会へ協議をお願いし、協議が整った段階でこの協議会で報告・検討して、その内容が重要であれば説明会で報告する必要があります。短いスケジュールですので、決まった時点で提言を行い、先に進んでいきたいです。年度内の提言の回数は明言しないという事でご理解願います。 他にご意見はありますか。 事務局から他に何かありますか。 これまでの議事録を配布しました。内容を後で確認していただきたいです。後日ホームページ等で公開していきます。要約議事録で公開したいと思います。 公開の要約議事録は「です・ます」調でお願いしたいです。 本日の議事日程は全て終了しました。
---	---